

事例  
03

ご利用者様の夜間の見守り支援

1. 課題

利用者の目線:

「夜間に何度も居室に来られると、睡眠の質が。。。」

職員の目線:

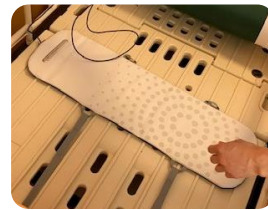
「定時巡視やセンサーの通知による  
居室への訪問対応の業務負担が大きい」



2. 機器の特徴

見守り支援ロボット [Neos+Care](#)

見守り支援ロボット [HitomeQ](#)



カメラ系の  
センサーと、

マット系のセンサー  
を組み合わせる♪

見守り支援ロボット [眠りSCAN](#)

見守り支援ロボット [安心ひつじα](#)

3. “2つの介護ロボット”を組み合わせることのさらなる効果

①手元の端末に通知→②表示されたシット画像やパイルサインを確認  
→③訪室するべき通知か判断→④ご利用者の安眠を確保



→職員が、双方の課題を意識して  
2種類の機器を活用し課題を解決！



Neos+Care



HitomeQ



眠りSCAN



安心ひつじα

【介護ロボットとは】

ロボットの定義とは、以下3つの要素技術  
を有する、知能化した機械システム

- ・情報を感知(センサー系)
- ・判断し(知能・制御系)
- ・動作する(駆動系)

(出典:厚生労働省ホームページ)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP